第5号　発行日　令和2年7月31日
青森県立弘前南高等学校サイエンス

弘前南 SSH 通信　CELESTE

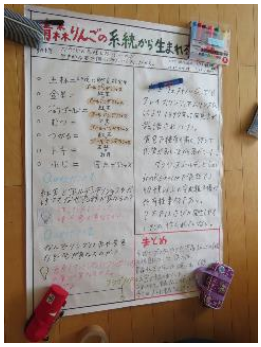
◇3ER ポスター発表

7月11日（土）　対象：1年次生全員　場所：第１体育館

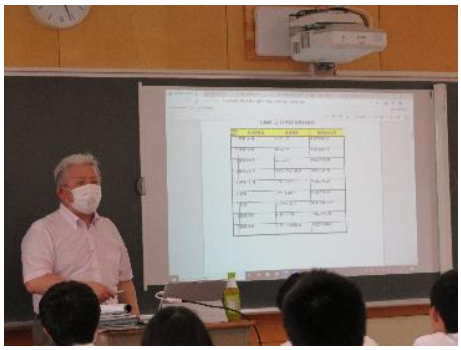
7月 11 日（土）南高祭で3ER ポスター発表を行いました。例年は文化祭に来校していただいた方々にも参観していただきましたが、3密を避けるために、校内だけの参観で、発表する班を半数に減らして行いました。その代わりに2年次 SSH クラス生に発表を聞いてもらい、質疑と評価をしてもらいました。2年次生は、質問するだけでなく、ポスターの内容や発表態度に関してアドバイスをしてくれたので、1年次生にとっては刺激になったようです。ポスター完成が遅くなり、発表の原稿作りや練習が十分できなかった班もありましたが、一生懸命頑張っていました。

【ポスター発表ベスト10（生徒評価）】

HR	班	テーマ
15	10	これが県内イチゴだ！
15	06	ホタテとゆ貝な仲間について
13	09	お米の成分と健康への効果
13	04	農産物を支える DNA の違い
12	06	米の秘密について探ろう
12	07	ハマナスの花の香り
13	02	原子力発電とは違う、核融合の将来性
16	01	青森県の郷土料理について
14	02	DNA 解析って何？
15	07	火山と気象による青森県への影響



◇科学倫理講演会（南陵ラボⅡ）



7月8日（水）　対象：2年次 SSH クラス生　　場所：26HR 教室

7月8日（水）5～6校時、2年次 SSH クラス生を対象に、弘前大学教育学部教授　長南幸安氏が科学倫理について講演しました。パワーポイントと「課題研究メソッド」を基に、研究者として身につけるべき科学倫理について、STAP 細胞事件やノーベル賞を受賞した山中教授などの過去の事例を含め丁寧に教えていただきました。主な研究不正や、引用と盗用の違いについて詳しく教えていただき、生徒達はメモを取りながら熱心に話を聞いていました。生徒達は、研究ノートの書き方に気をつけなければいけないなど、課題研究をスムーズに行うために必要なことをたくさん学んだようです。

【生徒感想抜粋】

・他人の書いたものを利用して自分の地位を上げることがいかに見苦しいものかが分かった。

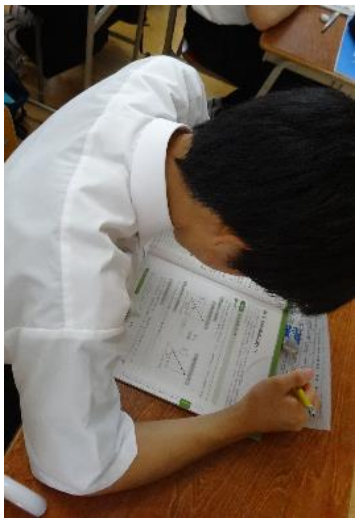
・科学倫理について、引用と盗用をしっかり区別しなければいけないと分かった。これからの課題研究でも、科学倫理を踏まえた上で活動していかなければならない。

・理系分野だけでなく、文系分野でも研究不正が行われることがあると知った。研究に関わった人を明記しなかったり、逆に関わらなかった人を明記する不正もある。

・これまで文章を書くときに、ルールを考えずに書いていた。研究ノートを書くときには、無意識に不正をしないように気をつける必要がある。

・実験ノートを取るときには、見やすい形に落とし込む。また思ったことや感じたことは些細なことでも自由に記述しておく。

・動画でデータを記録することが多いが、分かりやすくファイルなどに分けて保存して、確実にデータを残せるようにしたい。



INFORMATION

新型コロナウィルス感染防止対策をしながらいろいろな行事を行っていますが、講師の先生方が関東方面からいらっしゃる場合もあり、急遽中止になる場合もあります。随時 HR 担任を通じて連絡していきます。